

第1章

総合計画の目的と構成・期間

1-1 町のあらまし

静岡県 / 田方郡 / 函南町

かなみちょう

秀麗富士・箱根を仰ぐ緑豊かな大地

函南町は、箱根の南、富士山を望む風光明媚な地勢にあり、伊豆半島の入り口で気候温暖、原生の森をはじめ豊かな自然と特産品に恵まれた、人口約3万8千人の町です。

函南町データ

面積	65.16km ²
東西	約12.7km
南北	約11.1km
町役場	〒419-0192 静岡県田方郡函南町平井717番地の13
町の花	はこねざくら
町の木	ひめしゃら
総人口	38,471人(平成28年4月1日)
総世帯数	16,019世帯(平成28年4月1日)
特産物	スイカ・イチゴ・トマト・牛乳・乳製品



函南町は、静岡県の東部、伊豆半島の玄関口にあり、箱根の南に位置し、JR東海道本線「熱海駅」と「三島駅」の間、「函南駅」から東京までは新幹線を利用して一時間ほどの距離です。

また、東名高速道路「沼津IC」および新東名高速道路「長泉沼津IC」と「東駿河湾環状道路」で直結され、交通の便もよく、風光明媚で気候温暖、豊かな自然と美味しい農産物の豊富な町です。

国指定重要文化財「阿弥陀三尊像」をはじめ、貴重な仏像群の文化財、国指定史跡の「柏谷横穴群」、国指定天然記念物の北伊豆地震による「丹那断層」などの文化財があります。

また、国の選定による水源の森百選に選ばれた「函南原生林」、富士山の絶景ポイント「十国峠」、そして古くは湯治場として親しまれてきた国民保養温泉の「畑毛温泉」、町営温泉「湯〜トピアかなみ」など、歴史と文化のある癒しの地です。

1-2 総合計画の目的

総合計画では、この先の10年間を展望し、
町の将来像と取り組むべき施策を分かりやすく示します。

1-2-1 これまでの町取り組み

町の総合的な取り組みを示す総合計画は、昭和45年（1970年）の第一次総合計画から、平成19年（2007年）に策定した第五次総合計画まで改定を重ね、これに基づき各種施策を進めてきました。

その後、平成25年（2013年）に町制施行50周年を迎え、さらなる50年に向けたまちづくりの将来ビジョンを「環境・健康都市函南」としました。このまちづくりの将来ビジョンに基づき、「新生函南」の実現に向けて、快適な環境で安心して暮らせるまちを目指し、町を訪れる方々に魅力あるおもてなしのまちづくりに取り組んできました。

1-2-2 第六次函南町総合計画の目的

我が国は、長期的な低成長時代にあると同時に、少子・超高齢化社会の到来により人口減少社会を迎え、財政状況の悪化と生産年齢人口の減少というこれまでにない困難に直面しています。

町でも同様の課題に直面していますが、東駿河湾環状道路の開通や道の駅の整備等に伴い、町を取り巻く社会基盤の環境は大きく変化しており、この先10年間の変化を捉えた新たな計画が必要となっています。

この計画は、この先10年間で町が取り組むべき内容と町の将来像を示し、行政と地域住民が一体となってまちづくりを推進するための第六次函南町総合計画として策定するものです。



富士山とかんなみ桜

1-3 総合計画の構成と期間

総合計画は、この先の10年間におけるまちづくりの方針や目標を定めるもので、行政運営における最上位の計画です。

総合計画は、以下に示す「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されます。

1-3-1 基本構想

基本構想は、この先10年間のまちづくりの理念を示すものです。将来都市像とそれを実現するための施策・戦略を体系的に示します。

基本構想では、まず、町を取り巻く潮流とこれを踏まえた町の課題を展望し、成長のための道筋として町の課題を「見える化」しました。そのうえで、町の将来都市像を描き、その実現に向けた施策大綱と方向性を示します。

基本構想の計画期間は、平成29年度(2017年度)から令和8年度(2026年度)までの10年間です。

1-3-2 基本計画

基本計画は、基本構想に示す将来都市像を実現するために必要な施策を行政分野ごとに体系的に示します。基本計画は、基本構想の計画期間の前半5年間を「前期基本計画」、後半5年間を「後期基本計画」として策定します。

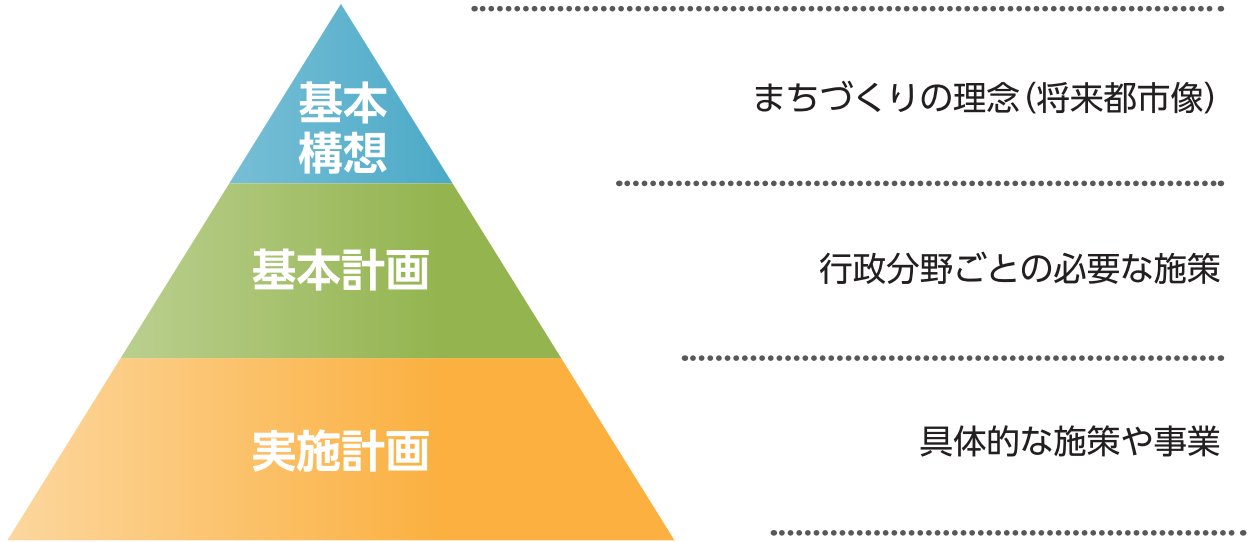
1-3-3 実施計画

実施計画は、課題や社会情勢に柔軟に対応し効果的な行政運営を行うために、3年間の具体的な施策や事業を財政的な裏付けに基づき策定します。時代の変化とニーズに対応するため、毎年見直しを行います。



交流の拠点となる道の駅・川の駅

総合計画の構成



総合計画の期間

